

フェーズ	準備～実施 (インプット)	参加者への効果	各個人・社会影響	しくみ (プロセス)
指標の分類 具体的な指標	実施体制、事前準備、実施時に関する指標	コミュニケーションの結果としての、理解の水準の向上、得心・相互理解の促進の指標	行動、対策などリスクコミがもたらした指標 (平常時) 結果の指標 (リスクが顕在化した時、緊急時や事後)	リスクコミの仕組み (プロセス) の指標
個人の意思決定	<p>【設計の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に解決したい問題・目的 (ゴール) を設定している。 リスクを評価した。 リスク対策を行った。 <p>・現状の課題を把握している。</p> <p>・参加者・関係者 (ステークホルダー) の範囲を把握している。</p> <p>・ステークホルダーのニーズを把握した。</p> <p>・対象者の知識レベル、リスクへの意識、リスクリテラシーを把握した。</p> <p>・適切な方法の検討と選択を行った。</p> <p>・希望者がリスクコミを受けるのか、リスクコミを受けることがデフォルトで希望者が拒否できるのかを設定する (オプション、オプトアウトの設定)。</p> <p>・場の設計をした。</p> <p>例1 多様で多くの参加者を集めた。</p> <p>例2 ステークホルダーのニーズと参加動機を反映した。</p> <p>例3 説明ツールを準備した。</p> <p>例4 適切な説明者・ファシリテーターを準備した。</p> <p>例5 参加者が事前に情報を収集できるようにした。</p> <p>例6 双方向性を確保する工夫をした。</p>	<p>【意見収集・質疑の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 場やアンケート等によって、参加者から意見が出た。 例1 問題解決・リスクマネジメントにおける改善点が出た。 例2 リスクミ (説明者・資料・場の設計) の改善点が出た。 <p>・参加者の疑問に応えた。</p> <p>例1 質問が多く出た。</p> <p>例2 質問に対し、適切な (論点にずれのない) 回答が返された。</p> <p>・場やアンケート等で、参加者の満足度を調査した。</p>	<p>【行動の指標】 (平常時)</p> <ul style="list-style-type: none"> リスクの回避、低減等のための行動をした。 例1 訓練への参加率が上昇した。 例2 リスクに備えた。 <p>・リスクを選択した。</p> <p>【リスク評価、管理側の指標】 (平常時)</p> <ul style="list-style-type: none"> リスク管理能力が向上した。 対策やプロセスが変わった。 <p>・意識が変わった。</p> <p>・公平性や透明性が向上した。</p> <p>【結果の指標】 (リスクが顕在化した時、緊急時や事後)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体、精神的被害が軽減した。 経済的被害が軽減した。 行動に納得した。 	<p>【仕組みの指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> リスクミを担保する制度が存在する。 例1 人材を育成している。 例2 解決したい問題・目的 (ゴール) が共有・継承される仕組みがある。 例3 継続のための予算が確保されている。 例4 リスク管理への参加の機会が確保されている。 例5 個人の意思決定への支援の仕組みがある。 例6 多様な選択が可能な仕組みがある。 <p>・仕組みや管理措置の見直しが行われている。 (PDCA)</p> <p>(リスクミ)</p> <p>例1 目的の妥当性</p> <p>例2 ステークホルダーの範囲の妥当性</p> <p>例3 方法の妥当性</p> <p>例4 場の設計の妥当性</p> <p>例5 説明ツール、資料の妥当性</p> <p>例6 説明者・ファシリテーターの妥当性 (説明の仕方など)</p> <p>例7 リスク情報システムの整備、アクセシビリティの確保状況の妥当性</p> <p>(リスク管理措置)</p> <p>例1 定期的にリスク評価をしている。</p> <p>例2 定期的にリスク評価方法を見直している。</p> <p>例3 定期的にリスク管理方法を見直している。</p> <p>例4 定期的にリスクミを行っている。</p>
社会の意思決定	<p>【実施時の態度、情報の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報がわかりやすい。 説明者が誠実な印象を与えた。 双方向性が確保されていた。 傾聴の姿勢があった。 <p>【参加者の関心に関する指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題・場に関心を持った。(参加したいと思った) リスクを認知した。 解決したい課題と認識した。 	<p>【参加者への精神的な効果の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者が満足した。 参加者が十分発言できた。 参加者の過剰な不安が低減した。 参加者の過剰な油断が低減した。 参加者の精神的ストレスが緩和された。 参加者の主観的幸福度が向上した。 <p>【参加者の知識の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハザードを理解した。 リスク、ベネフィットを理解した。 リスク評価を理解した。 リスク管理措置を理解した。 リスク管理の結果を理解した。 リスク対策が提案できるようになった。 <p>【信頼関係の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者間の信頼が向上した。 例1 価値観の共通点を見つけた。 	<p>【管理への影響の指標】 (平常時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の意識が変わった。 例1 世論が変わった。 例2 広く問題提起された。 <p>・リスクを選択した。</p> <p>・リスク管理が実践または見直された。(社会基盤・行政措置・法制度が変更された)</p> <p>【リスク評価、管理側の指標】 (平常時)</p> <ul style="list-style-type: none"> リスク管理能力が向上した。 対策やプロセスが変わった。 意識が変わった。 公平性や透明性が向上した。 <p>【社会、技術的な知見の指標】 (平常時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 知識が共有、活用された。 例1 関連する本の出版が増えた。 例2 関連するWEBページが増えた。 例3 関連するイベントが増えた。 <p>・新技術・知見への投資が拡大した。</p> <p>・人材の育成への投資が拡大した。</p> <p>【結果の指標】 (リスクが顕在化した時、緊急時や事後)</p> <ul style="list-style-type: none"> リスクが具体的に低減した。 被害 (人、経済) が軽減した。 	

説明書き

- ① 横の軸はリスクの流れをイメージしており、もっとも左の列はリスクミを行う仕組み (制度) を表しています。
- ② 縦の軸は、対象を「個人」と「社会」の意思決定に分類してみました。「影響」の指標のみが異なります。
- ③ 例はワークショップで出されたそれぞれの分野での指標を一般化したものです。
- ④ 次の展開として、各分野 (食品、防災、化学、放射線、原子力、食品安全等) に特徴的な言葉に置き換えることを考えています。